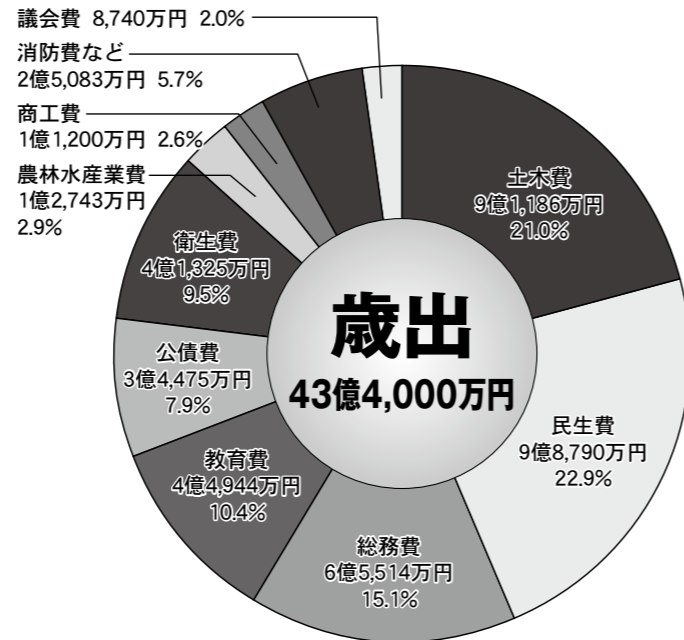
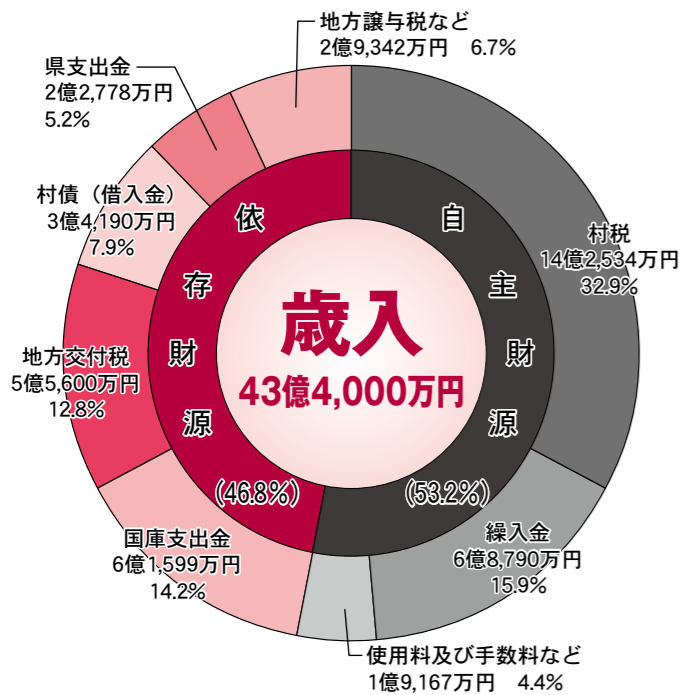


令和2年度
予算成立
全会一致で可決

衡下地区海老沢の市街化に向けて 基幹道路の整備に 1億6,400万円

一般会計予算
43億4,000万円
(前年度より1.3億円減)



民間宅地開発が計画される海老沢線周辺

令和2年第1回定例会は、3月4日から12日までの9日間にわたり開かれました。
村長提出案件は、条例制定4件、条例改正2件、村道路線の認定1件、総合計画の策定1件、辺地計画の変更1件、令和元年度補正予算7件、令和2年度各種

会計当初予算7件の全23議案が提出され、全て原案どおり可決しました。
一般質問は6人の議員が登壇しました。14Pから19Pに掲載しております。

- ◆ 主な実施事業 ◆
- 村営住宅長寿命化事業.....2億1,752万円
 - 万葉クリエートパーク公園長寿命化事業.....1,840万円
 - 五反田運動広場整備事業.....2,386万円
 - 子どもの心のケアハウス事業.....1,800万円
 - 大衡小学校プール改修事業.....1,500万円



改修予定の河原住宅1・2号棟

村民1人あたり **727,700円**
R2.2.29 現在 5,964人 (前年度 746,618円)

◎各種会計予算

	会計別	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業	5億2,600万円	1,910万円
	下水道事業	2億5,750万円	1,520万円
	介護保険事業	6億4,920万円	3,920万円
	戸別合併処理浄化槽	3,970万円	△160万円
	後期高齢者医療	5,300万円	240万円
水道事業(収益的収入及び支出)		2億4,013万円	△1,229万円

予算
質疑

予算は何に使われるのか



赤間しづ江委員長

令和2年度各種会計の予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 赤間しづ江・副委員長 遠藤昌一）が5日間にわたり開かれました。

特別委員会では課長などに質疑を行い、慎重審議した結果「可決すべき」と決定し、3月12日の本会議で議長に報告しました。

主な質疑

五反田運動広場整備

問 五反田運動広場整備事業の内容は。

答 令和2～3年度の2か年での整備計画である。今年度は樹木の伐採と外溝、周辺の側溝排水工事を予定している。

問 周辺の排水対策も計画されるのか。

答 北住宅2号棟前や商工会前の冠水対策として、排水施設を整備する計画である。



整備される五反田運動広場

災害対策

問 災害対策用として準備する物品の内容は。

答 各地区集会所に、段ボール製仕切り7セット、雨合羽20着、AEDバッテリー交換を配備する予定である。

問 新型コロナウイルス等の感染予防対策として、マスクや消毒液等も準備しておくべきではないか。

答 災害対策は自然災害だけでなく、感染症対策も考慮しておく必要があると思われるので、今後は事前に対応していきたい。

定住促進費

問 事業の目的は。

答 40歳未満の若者世代の定住促進と若者のUターンによる三世帯同居への支援である。

問 この事業の補助金の額は。定住補助金制度の見直しで、若者世帯定住補助金、三世帯同居補助金、最大150万円である。

平林会館2階入り口

問 どのような自動ドアに改修し、時期はいつ頃か。

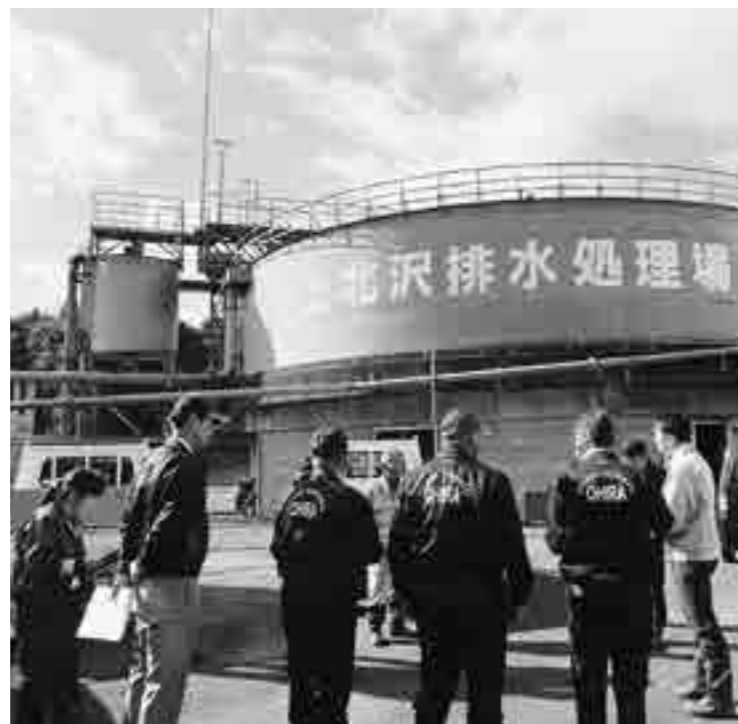
答 二重ドアの両方を折り戸にする工法である。

一か月ほどの工期で、住民の皆様には不便をかけないよう、工期の短縮を進めていく。

地場産品奨励事業

問 尚綱学院大学と包括協定を締結したが、地場産品奨励事業の内容は。

答 学生のアイデア等を取り入れ、大学祭などで地場産品の出店や大衡村の各イベントに参加していただき、村のPRを図っていく。



議会での現地調査

上北沢排水処理場

問 施設の長寿命化計画はどのように策定するのか。

答 施設全体のこれまでの修繕実績と今後の耐用年数から判断して策定する。

問 施設の老朽化が進み、基金運用益での施設維持は困難になっている。

答 計画策定により修繕経費も増えるが、全面更新についても考えなければならない。

問 約25億円の施設維持管理基金の運用で維持しているのか。また更新には多額の経費が懸念されるがどう考えているか。



尚綱学院大学との締結式



五反田北住宅1号棟

水道事業

問 現段階での利用料は増えているが、水道会計上の今後の見通しはどうか。

答 人口が減少し使用料も減っていく傾向にあり、加えて施設の老朽化対策を考えると、厳しい状況になると思う。

問 将来負担に備えてどのような考え方をしているのか。

答 施設の修繕は、基本的に料金収入で賄うのが原則であるが、今後は計画を立て、起債も活用していくようになる」と認識している。

村営住宅移転促進

問 村営住宅移転促進の内容は。

答 五反田北住宅1号棟の老朽化が進んでおり、建てかえという判断もあったが、大規模改修はしないで転居をお願いしたい。

問 五反田北住宅1号棟から村営住宅、定住促進住宅に移転した場合の家賃は。

答 5年間に分けて段階的に家賃が上がるようにする。転居費用は、1軒あたり15万円を支給したい。

ネーミングライツ

問 ネーミングライツの募集方法、審査にあたっての基準は。

答 令和元年度から4つの施設について募集をした。パークゴルフ場だけに応募があり、富谷市の株式会社SATO開発で、会社の経営状況を総合的に判断した。3年契約で1年あたり33万円である。

中学校校舎の管理

問 校舎3階教室の一部に数年前からの雨漏りが見受けられた。学校施設の管理が行き届いているのか。

答 学校の管理は校長の責任で行っている。教育委員会でも各教育施設を巡回し、確認していきたい。

問 村木でもある「ときわの松」の支柱が全部腐食している状況である。交換したのか。

答 現状を確認し、すでに支柱を全部交換した。

小学校備品の管理

問 パソコン機器や体育用品を平成30年度に更新しているが、旧物品類はそのまま保管されていた。その後廃棄処分はしたのか。

答 古い物品類は旧幼稚園舎に一時保管している。今後、心のケアハウスや図書室、学習室で使用することも可能と考えている。

心のケアハウス開設

問 対象となる児童生徒数と指導者数は。

答 不登校相当と休みがちな児童生徒は、小学校26人、中学校14人である。スタッフはスーパーバイザー、コーディネーター、サポーターを各々1人配置する。

問 旧幼稚園舎の改修費を含む開設事業費と財源は。

答 総額約3100万円、内訳は施設改修費、人件費、備品費等で、財源として県補助金1652万円を見込んでいる。



ネーミングライツ制度による看板

村誌編さん事務のあり方に疑問

佐野 英俊

問 村誌編さん事務に着手し2年が経過した。明確でなかった村誌編さんの基本方針と編さん対象事業が示されたが、基本方針は村誌編纂室を設置した当初に策定すべきではなかったのか。

また、編さん対象とする19事業の選択は各課と共に進めるべきではなかったのか。答 昨年9月に策定した基本方針は、事業開始当初に策定すべきであり、策定まで長引いてしまったことをお詫びする。事業の選択についても、遅ればせながら課長会議等で協議するなど各課と連携を図りながら進める。

自動車購入補助金制度の再検討を

石川 敏

問 村内に本社を置く企業が生産する自動車を対象に「地産地消」として購入者に補助金制度を計画しているが、住民にとって公平・平等ではない。

答 本村の産業振興を図る観点から村内企業の生産車両を対象とした。補助の種別や金額については、再検討する。

問 国では65歳以上の運転者を対象にした安全運転装置車両への「サポカー補助金」がスタートする。これに村で上乗せ補助する制度にする方が、高齢者の交通事故防止等から有意義ではないか。

答 安全運転装置は今のところ全車両が標準装備とはなっていない。財源の関係もあるが、年度中でも補助できるか検討したい。

一般会計委員会採決
全会一致で可決

特別会計6会計も可決すべきと決定

委員会での賛成

小川 ひろみ

尚綱学院大学との連携に期待
令和2年度一般会計当初予算は総額43億4000万円となり、前年度当初予算と対比して1億3000万円の減となる予算編成である。

公共施設・建築物の老朽化、社会保障経費にかかる扶助費の増など、取り巻く環境は厳しさを増している。

優先順位を的確にし、住民の皆様のお声に寄り添った施策と尚綱学院大学との連携が様々な分野での開発・推進につながることを期待し、予算に賛成する。

本会議での賛成

佐々木 春樹

住民サービスの取り組みを評価
令和2年度予算は、経常的支出が大きく、全体の71・4%を占めている中で、現行の住民サービスを維持し、新事業にも取り組んでいる。

自主財源が53・2%で依存財源を上回っていることは評価できる。予算審査の議論では、議会からの提案を取り入れ進める姿勢も示された。よって、賛成すべきと考ええる。

更に詳しく

総括質疑

2名の委員が登壇

一般会計 討論

令和元年度
補正予算
全会一致で可決

一般会計ほか6会計予算

事業確定により3億1,200万円減額 一般会計予算 48億1,768万円

補正の主なもの

◎歳入

- 国庫支出金 …… △17,868万円
- 基金繰入金 …… △ 7,135万円
- 財産収入 …… 1,811万円
- 村債 …… △ 3,090万円

◎歳出

- プレミアム商品券発行 △2,292万円
- 企業立地奨励金 …… △2,367万円
- 道路改良事業 …… △4,135万円
- 公園維持管理費 …… △5,538万円
- 農林災害復旧事業 …… △3,795万円

◎各種会計補正額

会計別	補正額	予算額
一般会計	△2億7,469万円	48億1,768万円
特別会計	国民健康保険	△2,873万円 4億8,751万円
	下水道	118万円 2億6,179万円
	介護保険	△355万円 6億4,578万円
	合併処理浄化槽	△613万円 3,517万円
	後期高齢	△50万円 5,404万円
水道	収益的支出	予算の組替 2億5,276万円

答 最終償還時期を過ぎているので滞納となる。

問 未償還は滞納扱いになるのか。

答 東日本大震災時の貸し付けは67件、貸付金総額が1億5871万円である。償還金額は1億5327万円で、4件543万円が未償還となっている。

問 災害復旧資金貸付基金の状況は。

災害貸付金未納



更新されたクリエートパークの遊具

問 工事請負費の減額はどのような理由か。

答 当初は1億円の予算要求をしていたが、国の交付金の内示額が半分以下であったため、減額するものである。

公園管理費の減額

主な質疑

プレミアム商品券

問 プレミアム付商品券事業の内容は。

答 消費税の増税に伴う国の施策である。

問 住民税が非課税の方、または2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた子どもがいる世帯を対象にした事業である。

問 村としての事業の成果は。

答 村内でなければ使えない理由もあり、住民税非課税世帯の購入者が少なかった。

社会保障システム

問 県支出金の社会保障システム整備費補助金がゼロから増額になっているが、その内容は。

答 歳出は12月で補正したが、今回、県の交付金が確定したので、歳入の補正をした。

企業立地促進奨励金

問 企業立地促進奨励金減額の理由は。

答 ソーラーフロンティア株式会社の年度内生産再開は難しいことから、5年度目の支払い2795万1200円の減額をした。

問 今年度立地が決定したグローテック株式会社の初年度の奨励金428万2000円が追加になり、差し引き額を減額した。

男女共同参画プラン 策定業務

問 男女共同参画プラン策定業務の内容は。

答 令和2年度から2か年で基本計画を策定する。2年度は、住民アンケート調査を行い、3年度に男女共同参画計画を策定する。

問 参画プラン策定にあたり、住民の意向をどう反映させるのか。

答 学校関係者、各種団体代表、一般住民代表の方々の意見を聴き進めていく。



教育委員の欠員

問 教育委員1名が欠員となつてから1年以上も経過しているが、教育委員会の運営に支障はないのか。いつ後任の委員を議会に提案するのか。

答 後任委員の人は進めてきたが、まだ決定には至っていない。欠員のままでは好ましくないため、できるだけ早く選任していきたい。



グローテック(株)建設予定地

村道認定 海老沢地区の村道路線認定

◎海老沢線の道路改良のため、海老沢線と海老沢持足線をつなぐ区間を新たに村道に認定する。



路線名	海老沢2号線
起点	大衡字海老沢 (海老沢線との交差点)
終点	大衡字海老沢 (海老沢持足線との交差点)
路線延長	約80m

主な質疑

問 市街化に向けた宅地開発に伴う基幹道路整備のための認定だが、宅地開発はどうなっているのか。

答 民間事業者から計画の説明があり、関係地権者で検討され概ね計画に賛同しており、現在、事業者側で開発区域の確定に向け詳細調整中とのことである。

計画策定

第六次総合計画策定

新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら

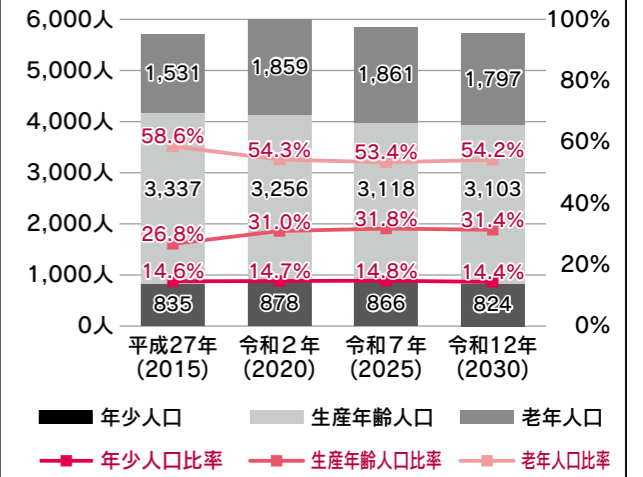
【基本理念】

新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら
～みんなで支え 笑顔で暮らせる まちづくり～

本村の人口規模や地域のコミュニティを基本としながら、本村を持続するために地区を越えて関わりを持ち、本村に関わるみんなで支えあい、村の強みを生かし、弱みを克服して、村全体でのコミュニティづくりを展開します。

それにより、行政サービスが確実に受けられる中で、子どもや若者世帯、高齢者、障害者等の全世帯・多様な人々が村全体で交流することができ、これからも笑顔で暮らせるまちづくりを目指します。

◎人口ビジョンの将来展望(2030年まで)



条例制定 空き家等の適正管理条例

令和2年4月1日 施行
条例改正の趣旨

本条例は、空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定めることにより、村民の安全と良好な生活環境に寄与することを目的とする。

主な質疑

問 条例制定後、どのように空き家調査を進めていくのか。

答 空き家の実態調査から始め、場合によっては、助言・指導・勧告等を行っていく。

問 条例の周知徹底を図り住民の理解を得るべきと思うが。

答 住民への周知については広報紙でお知らせしていく。

計画策定 辺地整備計画の変更

問 辺地指定は大瓜上、大森駒場の3地区であるが、辺地整備計画では駒場地区の事業が計画されていない。

答 現辺地整備計画では、大瓜上と大森の事業しか計画されていなかった。次期計画では、3地区を対象とする事業計画を策定していく。

問 辺地指定は大瓜上、大森駒場の3地区であるが、辺地整備計画では駒場地区の事業が計画されていない。

答 現辺地整備計画では、大瓜上と大森の事業しか計画されていなかった。次期計画では、3地区を対象とする事業計画を策定していく。

主な質疑

問 令和2年度事業として計画する消防施設と除雪機を追加する理由は。

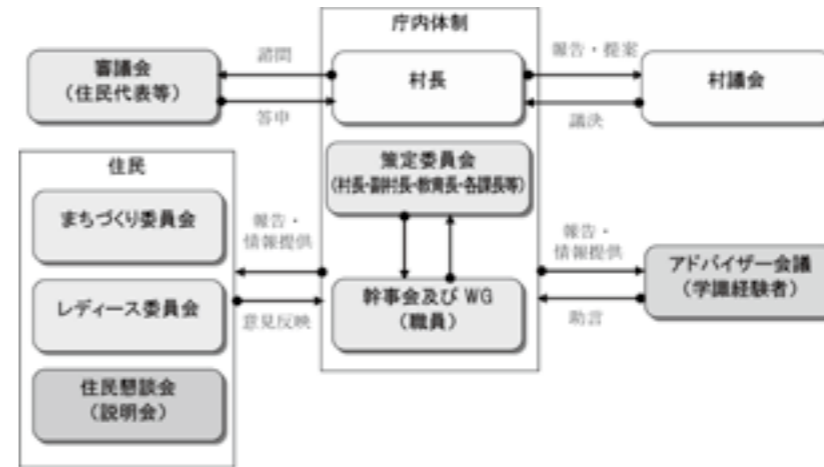
答 消防施設は第1分団に配備する予定の軽消防ポンプ車であり、ポンプ小屋の改修もあわせて行う。

問 除雪機2台は現車両が老朽化しているため更新するもので、小・中学校周辺の歩道除雪に使用する予定である。

答 消防施設は第1分団に配備する予定の軽消防ポンプ車であり、ポンプ小屋の改修もあわせて行う。

計画策定の進め方

<計画の策定体制>



総合計画の策定

問 住民の意見をどう反映させたのか。

答 公募による12名のまちづくり委員会、7名のレディース委員会、各行政区長・分館長等による審議会に諮問し、答申をうけた。

問 パブリックコメントとしての意見は。

答 意見箱の設置をし、4件の意見があった。

住民が望む将来像

問 住民アンケートの回収率は。

答 自由記載で回収率は28.8%であった。

問 ショッピングセンターや医療施設など住民は望んでいるが。

答 総合計画委員会や村長への手紙でも意見が出されている。施政方針でも述べており、誘致にも力を入れていく。

問 将来的展望は。

答 金融機関や塾・スポーツジム・ミニスーパーなどの要望もある。

問 大衡村ツアーを計画、本村の良さを紹介して全国に発信していきたい。

答 観光キャンペーン推進事業や物産展などへ参加してアピールしていく。



一般
質問

6名の議員が登壇

質問者一覧表

- 石川 敏**
・ 公共施設・公有財産の管理について
- 佐野 英俊**
・ 村誌編さん事務について
・ 台風19号による稲わらの処理について
・ 水道事業のみやぎ型管理運営方式について
- 赤間 しづ江**
・ 職員の人事行政について、職員が意欲を持って働ける環境をどうつくるか
- 佐々木 春樹**
・ イノシシ被害の現状と対策は
- 小川 ひろみ**
・ 学校教育の充実について
・ 大規模太陽光発電施設の規制を
- 文屋 裕男**
・ 大瓜木通川と大森高森水路の改修の考えはあるか

一般質問とは

定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

次の定例会は

6月3日(水)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局
☎345-6030
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

令和2年3月定例会提出議案 23件

(条例制定4件、条例改正2件、補正7件、当初予算7件、その他3件)

- 議案第 3号 大衡村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について
- 議案第 4号 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第 5号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第 6号 大衡村空き家等の適正管理に関する条例の制定について
- 議案第 7号 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 8号 大衡村税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 9号 村道路線の認定について
- 議案第10号 第六次大衡村総合計画基本構想及び基本計画について
- 議案第11号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 議案第12号 令和元年度大衡村一般会計予算の補正について
- 議案第13号 令和元年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第14号 令和元年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正について
- 議案第15号 令和元年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第16号 令和元年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正について
- 議案第17号 令和元年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正について
- 議案第18号 令和元年度大衡村水道事業会計予算の補正について
- 議案第19号 令和2年度大衡村一般会計予算を定めることについて
- 議案第20号 令和2年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算を定めることについて
- 議案第21号 令和2年度大衡村下水道事業特別会計予算を定めることについて
- 議案第22号 令和2年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算を定めることについて
- 議案第23号 令和2年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算を定めることについて
- 議案第24号 令和2年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて
- 議案第25号 令和2年度大衡村水道事業会計予算を定めることについて

◇3月定例会 採決状況表◇

○賛成 ×反対 議長(細川運一)は採決に加わらない。

議案	小川克也	佐野英俊	石川敏	小川ひろみ	赤間しづ江	佐々木春樹	文屋裕男	高橋浩之	遠藤昌一	佐々木金彌	佐藤貢	細川運一	議決結果 (賛成:反対)
議案第3号～11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
議案第12号～18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
議案第19号 一般会計当初予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)
議案第20号～第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(11:0)

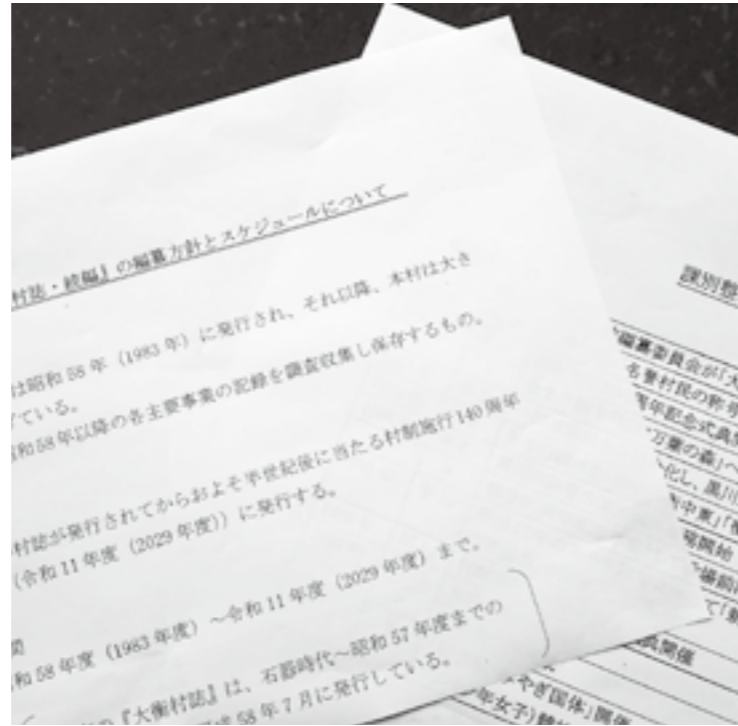


佐野 英俊 議員

どう進んでいる村誌編さん事務 編さん方針を策定し進めている

村長 令和元年9月に編さん方針を策定し、村の歴史に詳しい数名の役場職員OBから聞きながら進めている。

議員 編さん対象119選択事業の調査収集が年度末に完了とのことだが、村誌編さん基本方針を策定しないのは何故か。編さん対象事業の選択はどう進めたのか。



策定された村誌編纂方針

議員 基本方針は無いと言ってきたが、策定したならば公表すべきであり、編さん対象事業の選択は各課と調整し進めるべきではないのか。

村誌編纂委員長 公表するか庁内で検討し、住民の方々は村誌編さんを認識してと考えると、時期尚早と判断し公表していない。事業の選択は便宜的に選択したものである。

村長 既存の村誌が発行され半世紀になる令和11年度の村制施行140周年に合わせた発行を目標とし、各課と協力して進める。

議員 樫田の仮集積場へ搬入保管している稲わらをどう処理するのか。

村長 災害等廃棄物処理国庫補助金を活用し、全量を民間業者による焼却処理を予定している。

議員 東日本大震災の原発事故によるすき込み処分事例もある。

議員 堆肥化、すき込み協力等の声もあったが、処理の効率性から民間委託の焼却処分を予定した。

こんな質問もしました

Q 水道事業のみやぎ型管理運営方式についてどう捉えているのか。

A 民間の力を活用し、コスト削減の実現に期待している。



石川 敏 議員

適切な公共施設の維持管理を 中長期的な改修計画を策定する



維持管理に多額の経費が（万葉クリエートパーク）

議員 平成28年から6カ所の公共施設を指定管理として委託しているが、業務内容について契約を見直す点はないか。

村長 契約更新時にその都度業務内容の見直しをしている。今後予定している更新の際に、利用者の利便性や施設の利用状況を見て改善すべき点は適切に見直していく。

議員 維持管理費の削減の面から、大衡城青少年交流館は利用申し込みに応じての開放や、美術館は年中開放ではなく、定期閉館日を設けるなど検討が必要ではないか。

教育長 教育文化施設は、利用者が多い少ないだけで判断できないが、令和4年度の契約更新時期までには検討していきたい。

議員 万葉クリエートパークや多目的運動広場は維持管理に多額の経費がかかっている。

村内の利用者は少ない状況で、住民福祉の向上に役立っているのか。

村長 クリエートパークの遊具は年次計画で修繕更新しているが、一部は撤去も検討していきたい。

議員 多目的運動広場は村外利用がほとんどであり、今後使い方を精査していきたい。

議員 公共施設・公有財産の管理運営はそれぞれの担当課ではなく、管財担当課に一元化して、計画的な施設管理運営を図っていくべきではないか。

仮集積580トンの稲わら処理は 民間業者による焼却処理を計画

議員 全くそのとおりと考える。公共施設の老朽化調査分析を令和2年度に実施し、公共施設の中長期的な修繕改修計画を策定し、施設の再配置や統廃合も含め検討していく。



佐々木春樹 議員

イノシシ被害の現状と対策は 村挙げて取り組んでいく

村長 既に昨年の倍以上の捕獲頭数となっている。イノシシ個体数の増加と、村鳥獣被害対策実施隊の皆さんの捕獲技術向上によると認識している。

議員 現在のイノシシ被害状況は。



イノシシ捕獲用箱わな (大瓜下地区)

被害を食いとめることは難しいと考えており、個人や地区の理解や協力を得て、全村挙げて取り組んでいく必要があるものと考えている。

議員 9月議会では、実施隊の皆さんと話し合いを持ってこれから臨むとの答弁だったが、体制づくりは進んでいるのか。

村長 話し合いは実施しております。隊長はじめ実施隊員の方々の来庁時や捕獲現場の立ち会いの際にお話を伺っている。また、2月26日にイノシシについて専門家の講演と意見交換会を開催した。捕獲だけに頼っても被害は減らない、地域でイノシシの生態など、基本的な知識を習得し、対策に取り組むことが大切である。実施隊との情報交換や地域の理解やご協力を得るためのイノシシ対策の研修会も計画する。

※止めさし
くくりわなや囲いわなで捕獲された野生動物の「止めさし」を刺すこと

村長 広報紙や農業関係支援制度のお知らせを通じて、周知・募集や狩猟免許や鉄砲所持許可の取得、その更新経費の助成を行っている。「止めさし」ができる人材を養成するのはハードルが高いと認識している。被害の多い行政区を中心に、区長などの協力も得ながら、適任者の発掘を行っていく。

議員 長野県塩尻市の事例を調査すると答弁したがその結果は。

村長 産業振興課において検証検討を進めてきたが、整備費用や維持に係る経費、整備期間を考えると難しい。

議員 「止めさし」のできる後継者の育成をどのように対応しているのか。



赤間しづ江 議員

職員の人事行政を問う 風通しの良い職場環境をつくる



職員が意欲を持って働ける環境を

議員 新年度を迎えるにあたり、87名の職員が意欲を持って働ける環境をどうつくるか。職員の人事異動における基本的な方針は何か。

村長 勤続年数を参考に、基本的に、若い職員は経験を積ませるため、2年から3年での異動というところもある。

議員 同一課内の長期在職、または極端に短期間で異動する職員が見受けられるが、どのような考え方に基づくものか。

村長 限られた職員数のため人事配置上、短期間になったり、長期とならざるを得ない場合もある。

議員 労働安全衛生法の改正により、27年度から全職員を対象に行っているストレスチェックから見えてくる課題は何か。

村長 働く人の心理的負担の程度を把握するための検査であり、自身の精神的ストレスや心の病などの不調を未然に予防できる。高ストレスとなっている職員は14名いるが、安心して相談できるよう、風通しの良い職場環境を整える必要があると考えている。

議員 職員の健康、人間関係、ハラスメント等に関する相談窓口体制は。

村長 中間管理職の中から、男女各3名に相談員をお願いしている。職員に周知を図っているが、これまでに相談を受けたケースはない。

議員 職員の資質向上と人材育成のため、接遇から専門研修まで研修計画の考えは。

村長 民間の事業所派遣研修をはじめ、市町村職員研修所での階層別研修、法令などの専門研修を受講させている。全職員対象のセクハラ防止、働き方改革など独自の研修も行っている。今後、2か月間の中堅職員研修へ派遣も検討していきたい。



文屋 裕男 議員

木通川と高森水路の改修の考えはあるか 辺地債事業や防衛9条事業で検討する

議員 大瓜下の木通川は、上流はきれいに整備されているが、下流は昔のままの細い水路になっている。関東・東北豪雨や台風19号の大雨で同じところが被害を受けている。整備改修の考えはあるか。また、財源として防衛予算は利用できるか。



冠水した木通川周辺の水田（大瓜下地区）

村長 木通川の下流は蛇行しており、被害を受けやすい。改修も検討したが、圃場整備と合せる必要性や財源の裏づけもあり実現に至っていない。当面は災害復旧費補助金で対応していく。これまでの経過を検証し、防衛予算の利用も検討していく。



越水により被害を受けた村道（大森地区）

議員 大森の高森水路は、東北自動車道や周辺からの雨水が水田に流れ、村道をも超えている。水路整備は20年前から計画されているが、なぜ整備されないのか。

議員 台風19号による雨量は309ミリに達し、既設の太い排水管でさえのみ切れなかった。これからもこの状況が続くのか。

村長 豪雨時に水路を越水して農地が冠水することは、村も把握している。平成26年には地元水利組合から要望書も提出されたが、財源の関係もあり着手していない。

村長 平成26年の要望から5年以上にもなるので、現地を踏査し状況を把握しなければならぬ。住民の皆さんの利便性も考慮し、事業実施時期は未定だが辺地債事業や防衛9条事業での実施を検討するなど、重点的に考えていく。



小川ひろみ 議員

学校教育の充実について サポート事業や心のケアハウスを設置する



心のケアハウス スタッフの皆さん

議員 学力の低下・不登校など多くの問題を抱えている状況の中で第六次総合計画が示された。一村一校の良さは、課題は。県のサポート事業での、9年間における子どもに力をつける教育の取り組みの成果と課題、今後の考え方は。

教育長 行事など、様々な面で調整や連携がしやすい環境にあるが、学習面では競争心に欠ける。学校と教育委員会だけでなく、子どもと親、学校が結びつかなければならない。尚絅学院大学との連携も含め、小中それぞれの良さ・指導の違いを理解したうえでサポート事業を進めていく。

議員 不登校対策に、心のケアハウスの設置を考えているようだが、内容は。

議員 給付型奨学金の制度を創設しては。

議員 山林など破壊するメガソーラー建設に対して法規制がない。危機感もち、村として条例制定を早急にすべきでは。

議員 旧幼稚園舎を改修し、10月の開設を目指す。支援担当の職務は中心となるスーパーバイザー、窓口機能を果たすコーディネーター、学習支援等を担うサポートである。整備完了までは、役場内に本部を置く。

議員 大規模太陽光発電施設の規制を情報収集を行い検討する

議員 大衡村出身者が大学卒業後、村内で就職することで奨学金の無返還・一部免除を行うことも考えている。

議員 太陽光パネル廃棄・リサイクルに向けた計画的な対応と、事業着手前の事前協議や住民説明会の義務化も必要ではないか。

議員 国のガイドラインでは、事業計画書の提出を義務づけている。令和2年4月1日の改正では、住民説明会も義務化される。

議員 都市建設課長

委員会 Report

大衡村男女共同参画推進の会との 出前懇談会

広報広聴

調査年月日：令和元年12月19日

◎懇談相手方

大衡村男女共同参画推進の会

◎意見交換の内容

相手方からの下記の意見が示され意見交換を実施



- ①男女共同参画社会基本法に基づき、社会のあらゆる分野において男女共同参画の形成促進に関する施策の推進を図っていくことが重要である。
- ②地方公共団体は、区域の特製に応じた施策を策定し、実施する責務を有している。
- ③村は、男女共同参画基本計画及び宮城県男女共同参画計画を勧奨し、村の区域における男女共同参画の形成促進に関する施策について、基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

◎調査を終えての所感・意見

初めての出前懇談会であったが、参加委員は相手の意見・要望について内容を把握した上での参加だったことから、有意義な意見交換が出来た。

令和2年度に男女共同参画プラン策定業務が予算化された。

議会活性化

◎タブレット導入検討小委員会の開催状況

開催日	内 容
R1.11.26	正副委員長の選出、今後の活動方針の協議
R2. 1 .10	(株)ドコモCS東北の社員が小委員会に参加し情報提供
R2. 1 .28	導入及び運用における経費確認



タブレット導入説明会

◎中間報告

議会活性化特別委員会の中にタブレット導入検討小委員会を立ち上げ調査を実施している。今後、タブレットの早期導入に向けて、議会及び執行部の理解を求め協議していきたい。



河原住宅3号棟

請負契約の変更

令和元年度河原住宅3号棟改修工事

工事場所	大衡村大衡字河原地内
請負業者	株式会社北陵建設
請負金額	変更前：69,740,000円
	変更後：69,951,200円
工事期間	変更前：令和元年9月17日～令和2年1月31日
	変更後：令和元年9月17日～令和2年2月28日
変更理由	既存瓦撤去後の調査により、一部クラックが確認されたことからポリマーセメント系の防水工事を追加。また、当初設計の枠組み足場からくさび足場へ変更することとした。

※クラック：壁、天井などに行ける割れ目、裂け目

損害賠償の額を定め和解

概要

万葉クリエートパークに設置してあるローラーすべり台を滑走した際、尾骨部分に傷害を負った事故（H27.10.27）について村として損害を賠償し和解。

賠償額

損害賠償額：1,326,610円
本件にかかる損害賠償金及び弁護士費用、調査費用については、全額保険で対応。

専決処分の承認

台風19号の災害に係る農業用施設小災害復旧支援事業補助金として、20,000,000円を補正追加（専決日：R1.12.23）

調査年月日：令和2年2月6・7日

調査年月日：令和2年2月10日

災害復旧対策事業

◎台風19号による稲わら収集・運搬状況

	件数	搬入量	交付金
個人搬入	7件	289.8m ³	1,440,000円
村への申請による搬入	8件	1049.2m ³	5,246,000円
計	15件		6,695,000円



衡中北集会所新築工事

建物の高さが当初設計よりも高くなったために、周囲の敷地との高低差が生じている。改善する必要がある。

イノシシ対策の現状

◎有害鳥獣被害対策実施隊活動状況

活動内容	人数	活動数	活動手当
わな設置・撤去	88人	196日	3,074,000円
わな見回り	123人	965日	
止めさし	24人	57頭	
処理ほか	50人	131日	

(令和元年12月末時点での延べ数)



イノシシによる被害は年々増大しており、村内全域に拡大している。効果的な対策を迅速かつ継続的に講ずる必要がある。

◎令和元年度イノシシ捕獲状況 (R2.2.4現在)

捕獲頭数	80頭 (交通事故を含む)
捕獲された地区	大瓜上、大瓜下、駒場、松原、大森、衡中、衡中北、衡中東

小・中学校のいじめ、不登校

いじめ・不登校については、早期発見と早期対応を心掛けるとともに、学校・家庭・地域が密接に連携を図っていく必要がある。

◎いじめ・不登校の現状 (R1.12末現在)

	小学校	中学校	備考
いじめ認知件数	8件	2件	
不登校	4人	4人	欠席日数30日以上
不登校相当	5人	2人	※下記参照

※欠席日数+別室登校+(遅刻日数+早退日数)÷2が30日以上

空き家対策

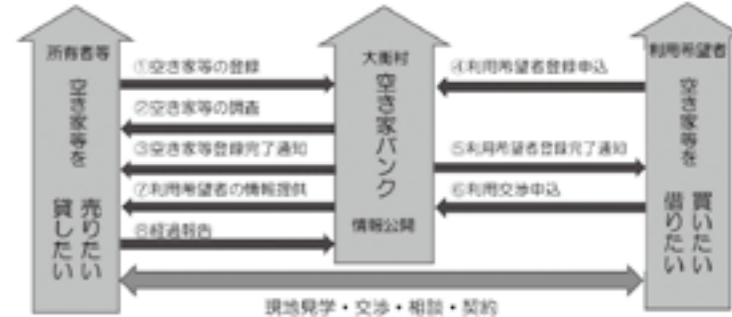
◎大衡村空き家バンク(R2.1.10開設)

●空き家バンクの概要

空き家を貸したい・売りたい所有者と、借りたい・買いたい希望者を登録し、村は双方に情報を提供する。

現在登録者がゼロなので、制度を周知していく必要がある。

◆空き家バンクの仕組み



新公共交通システム

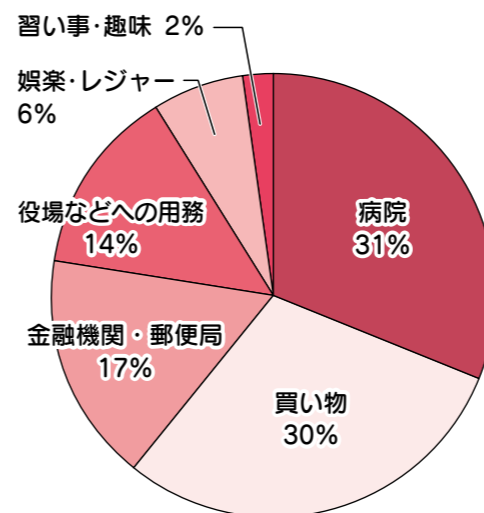
◎公共交通に関するアンケートを実施

大衡村の公共交通について、更なる利便性の向上を図るため、公共交通全体の見直しを検討しており、公共交通に対する住民の皆様のご意見を伺うべく、村内全世帯を対象にアンケートを実施。

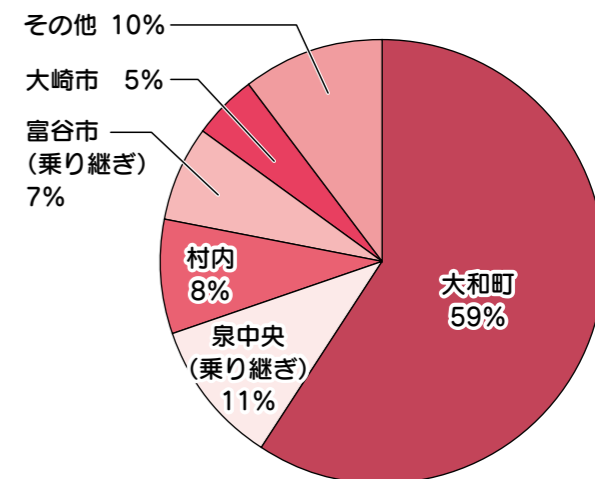
配布数	1,855
回答数	574
回答率	30.9%

◎アンケート集計結果 (アンケート設問の全7問中2問を抜粋)

バスを利用する目的は主にどのようなものですか (複数回答)



公共交通を利用してどちらへお出かけすることが多いですか (複数回答)



活動の継続はかない

村を愛し衡下を愛する地区の先輩たちが、昭和37年に水田一反歩余りを借りて作った米の販売代金で旅行し、鉤の吊るされた炉端を囲み、裸電球を明かりに「闇夜汁や豚の臍物を焼き夜遅くまで酒を酌み交わし、後継者の語らいの場として誕生させた「愛衡会」が、現在も会員30人により引き継がれています。

衡下の夏祭りと言えば、花火の本場である大曲の花火師

会長 田中 宏幸さん
たなか ひろゆき

による打ち上げ花火が毎年恒例の祭りです。三百人余りの方々にご来場いただいたり夏祭りの裏方役を愛衡会が担当し、5m四方の大舞台を組み、夜店を設営し、民謡桃隆会の唄声による盆踊りは、とても風情があり好評をいただいております。

これからも「郷土愛、仲間づくり」をモットーに、地区の原動力として活動していきます。

とびく輝



議会事務局の紹介

4月1日付、人事異動があり新体制となりました。



副参事 和泉 文雄 局長 堀籠 緋沙子 主事 沼田 裕紀

新型コロナ対策を とりながら編集作業



あ と が き

新年度予算も決まり、新たな事業の取り組みが進められる中、広報分科会として、住民の皆様にご事業の内容をわかりやすく、親しみやすい紙面づくりに努力していきます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、私たちの生活が一変しており、早い終息を願うものです。

佐藤 貢

- 大衡村議会
 広報広聴常任委員会
- 委員長 小川ひろみ
 会 長 佐藤 貢
 副会長 赤間しづ江
 委 員 小川 克也
 佐野 英俊
 石川 敏
- 発行責任者 細川 運一